

### みずほCustomer Desk Report 2018/06/27号(As of 2018/06/26)

国際為替部 為替営業第二チーム

#### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.56 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.65	1.1701	128.31	1.3277	0.7410
SYD-NY High	110.23	1.1722	128.45	1.3292	0.7423
SYD-NY Low	109.37	1.1635	127.81	1.3192	0.7380
NY 5:00 PM	110.01	1.1648	128.14	1.3221	0.7391
NY DOW	24,283.11	30.31	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,561.63	29.62	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,723.06	5.99	米国2年債	2.5308	▲0.42bp
日経平均	22,342.00	3.85	米国5年債	2.7455	▲0.69bp
TOPIX	1,731.07	2.80	米国10年債	2.8757	▲0.55bp
シカゴ日経先物	22,335.00	140.00	独10年債	0.3390	1.45bp
ロンドンFT	7,537.92	28.08	英10年債	1.3020	1.15bp
DAX	12,234.34	▲35.99	豪10年債	2.6265	▲0.40bp
ハンセン指数	28,881.40	▲79.99	USDJPY 1M Vol	7.15	▲0.16%
上海総合	2,844.51	▲14.83	USDJPY 3M Vol	7.60	▲0.01%
NY金	1,259.90	▲9.00	USDJPY 6M Vol	7.98	▲0.08%
WTI	70.53	2.45	USDJPY 1M 25RR	-1.23	Yen Call Over
CRB指数	197.24	1.90	EURJPY 3M Vol	9.10	▲0.03%
ドルインデックス	94.66	0.38	EURJPY 6M Vol	9.14	▲0.18%

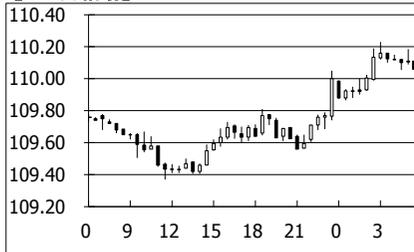
#### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月26日	23:00	米 コンファレンスホート消費者信頼感	6月 126.4	128.0
6月27日	02:15	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	「貿易摩擦が米経済への下振れリスクを増大」	
	02:45	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	「FRBの政策は引き続き緩和的」	

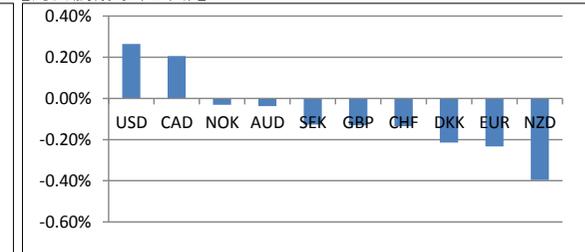
#### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月27日	17:30	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月 0.2%	0.1%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	5月 -1.0%	-1.6%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	5月 0.5%	0.9%
	23:00	米 中古住宅販売契約(前月比)	5月 0.5%	-1.3%
6月28日	00:00	米 クオールズFRB副議長 講演	-	-
	01:15	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁 講演	-	-

#### 【ドル円相場】



#### 【対円騰落率(日次)】



#### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50—110.50	1.1600—1.1700	127.50—128.80

#### 【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円相場は底堅い展開。米CEA委員長のコメントを背景に米中貿易摩擦の緩和期待が高まり、ドル買い優勢に。また、ダラス連銀総裁が「FRBの政策は引き続き緩和的」と発言すると110.23円まで上昇し、110.00円近辺でクローズ。本日のドル/円相場は、方向感に乏しい展開を予想する。新規材料難の中、ドル/円が一段と上昇することは考えにくいことや、月末SPOT日で輸出企業のドル売りが相応に出ることが予想され、方向感に乏しい展開となりそうだ。

東京	前日のトランプ政権による中国から米国への投資規制を検討との報道に、米国の一方的な保護主義政策に対する警戒感が増す中で朝方からドル円は上値の重い推移が続き、東京時間は109.65レベルでオープン。日経平均株価が前日比マイナス圏でオープンしたことに加え、四半期末特有の実需フローも散見される中、ドル円は109.37まで下落。その後は日経平均株価が前日比プラス圏まで上昇したことや米金利が小幅上昇したことも相俟ってドル円は109.91半ばまで値を回復。結局109.64レベルにて海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.64レベルでオープン。ナハロ米通商製造政策局長の「トランプ政権の通商政策は誤解されている。中国も他国からも米国への投資規制の計画はない」との発言報道が欧州時間入り後に再度意識されてか、109.81まで上昇。上昇一服後は、欧州株の軟調推移に上値を抑えられ、109.57レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3268レベルでオープン。連続して利上げ票を投じてきた効力のマカフィー英中銀委員の後任のハスケル次期委員(9月に就任)が、議会公聴会で利上げの弊害に言及したことで、利上げ期待が後退すると、1.3208まで下落。独自動車大手の幹部の、「プラグジットを理由に英国からの生産移転を検討することは無い」との発言や、英銀の5月新規住宅ローン承認件数が3万9244件(4月:3万8327件)と、4カ月ぶり高水準に増加したこと等を好感する買い戻しの動きとなり1.3244レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は109.57レベルでオープン。朝方は、先日のナハロ米通商製造政策局長の発言に続き、ハセット米CEA委員長が「市場にとって不透明なのは良くない。中国、EUの対米関税を引き下げるための良い策を持っている」と述べており、米中貿易摩擦に対するリスク回避の動きが一時的に弱まったためか、米金利上昇と共に109.79まで上昇。米6月消費者信頼感指数は前月比で低下し予想を下回ったが、特段のニュースが見当たらない中ドル買いが強まり、テクニカルなポイントを突破し110.05をつけるも、その後は109.87まで反落。午後はカプラン・ダラス連銀総裁が「FRBの政策は引き続き緩和的だ」と述べたことや米株の堅調推移を受け、ドル円は再び110円台に乗せ110.23まで上昇するが、200日移動平均線に上値を押さえられ110.06まで反落し、結局110.01レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは1.1720近辺を推移するが、利益確定の売りが強まり1.1651をつけ、1.1674レベルでNYオープン。朝方は1.1684まで上昇するが、ハセット氏の発言や、米金利が反転しドル買いが強まったことから1.1650まで再び反落し、その後は1.1670近辺で推移。午後は米株の堅調推移を受け、ドル買い優勢な展開が続き1.1635をつける。終盤は1.1650付近で推移し、1.1648レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 佐藤・鶴田